

# 例会報告

## Rotary

高山西ロータリークラブ



17-18 年度会報月間写真 お城シリーズ  
5 月 彦根城 ひこにゃん 新井 典仁

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988  
大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 鴻野 幸泰
- 会報委員長 新井 典仁

### <会長の時間>

#### ファミリーボックスと家族例会

5/19 に新緑家族例会として加賀百万石の金沢市へ行ってまいりました。東茶屋・金城楼・近江町市場へ行ってまいりました。会員の皆様、そしてご家族の皆様、お忙しい中、参加賜りありがとうございました。向井委員長さんをはじめとする親睦委員会の皆様のお計らいで金沢の伝統文化に接する機会を作っていただきました。また JTB の田辺さんには大変お世話をおかけしました。ありがとうございます。

宴会場となりました金城楼の社長さんは、香林坊 RC のメンバーだそうです。ご本人が、あいさつに来られ、金城楼の歴史と伝統についてお話をいただきました。明治 23 年創業の老舗だそうです。立派なお部屋の中で料理とお酒をいただき、芸妓さんの踊りを堪能し、お座敷遊びもさせていただきました。本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。

今日はテニスのファミリーボックスについてお話ししたいと思います。テニスは過酷なスポーツであると以前お話ししました。原則的にはコーチングもなく一人で何時間も戦うスポーツです。この選手を励ます唯一のものがファミリーボックスです。テレビでは美人な奥さんやガールフレンドが注目されますが、ファミリーボックスには通常コーチやトレーナーなどのスタッフや、家族の皆様がいます。世界を転戦するプレイヤーをサポートするスタッフと家族の支えがあってこそ、選手は戦えると思います。先日沢松さんがテレビでウィンブルドン大会の舞台裏をお話していましたが、たくさんのスタッフを抱える選手は会場周辺の一軒家を借り切るそうです。ウィンブルドンは郊外なので近くに大きなホテルがありません。その代わりに、近くの住民がバカンスに行っている間に、第三者に自宅を貸し出すシステムがあるそうです。

さてファミリーボックスをロータリーの世界の話に引き戻すと家族例会があります。任期中にたくさんの家族例会をさせていただきました。ロータリークラブの家族例会は何故行うのか、と考えますに、ロータリー活動は家族に支えられて行われるものと思います。家族の理解がとても大切だと思います。旦那さんがロータリーで何をしているか、わからないでは始まりません。ロータリー活動を理解しサポートしていただくために、家族例会は必要だと思います。そして奉仕活動の第一歩は家庭から、なんて。なかなかできませんが、こんな思いでございました。

### <幹事報告>

#### ◎次期ガバナー、地区ロータリー財団委員長より

- ・地区ロータリー財団研修セミナー開催のご案内
- 日 時 7 月 21 日(土) 点鐘 12:00 閉会点鐘 16:30
- 場 所 岐阜グランドホテル 岐阜市長良 648
- 出席要請者 2018-19 クラブ会長、2018-19 財団委員長



#### ◎高山市都市提携委員会より

- ・友好都市提携 30 周年記念平上山市市民ツアーの開催について

#### ◎光記念館より

- ・特別展のご案内および招待券・優待券  
「小山高生コレクション展」「山本富彦ガラス展」  
期日 6 月 16 日(土)~9 月 18 日(火)

#### ◎飛騨高山国際協会より

- ・平成 30 年度飛騨高山国際総会資料

#### ◎高山・デンバー友好協会より

- ・平成 30 年度高山・デンバー友好協会総会資料

#### ◎飛騨慈光会後援会より

- ・飛騨慈光会後援会 総会のご報告

#### <例会変更>

- 高 山 … 6 月 28 日(木) は、新緑家族例会のため、  
24 日(日) 名古屋市 に 変更
- 高山中央 … 6 月 4 日(月) は、定款 により 休会  
6 月 25 日(月) は、最終慰労例会のため  
18:30~ ひだホテルプラザ に変更

#### <受贈誌>

岐阜県環境生活部人権施策推進課長(人権だより No. 73)

### <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	34 名	2 名	36 名	41 名	87.80%
本日	31 名	—	31 名	41 名	75.61%

### <本日のプログラム> インターアクト委員会

#### 飛騨高等学校

#### インターアクト部 部長

#### 3 年 大村 優希菜 さん

私は飛騨高山高校 3 年生のインターアクト部部長の大村優希菜です。日頃は、高山西ロータリークラブのみなさんには経済的な面ばかりでなく様々な助言や大会の運営等で、お力を借していただき、大変お世話になっております。ありがとうございます。私達飛騨高山高校のインターアクト部は、主に金曜日に活動をしています。その内容は校内や外の階段の清掃、発展途上国の子どもたちにワクチンを送るために、ペットボトルの蓋の回収です。



ロータリー：変化をもたらす

# 例会報告

清掃活動では、日頃の感謝を込めて、階段や廊下などのすみずみまで綺麗にできるように努めています。最初の頃は言われたからやるという感じがありましたが、最近では自分からすみずみまで清掃できるようになりました。掃除というものは、やればやるほど綺麗になり、それと一緒に心も綺麗になるような気がして、とてもやりがいがあります。

昨年の夏に行われたインターアクト年次大会では他校の部員との交流や韓国人の高校生との交流があり公演を聞いたり、千代保稲荷神社の観光をしたりして楽しませていただきました。今年の三重県の高田高校が主催の年次大会もぜひ参加させていただきます。たくさんの方の高校生との関わりや鈴鹿サーキットでの研修を楽しみにしています。高校最後の年次大会ですので良い経験ができるはもちろんのこと精一杯楽しみたいと思います。

毎年12月には、coop ぎふ主催のユニセフ募金に参加しています。正解で困っている子どもたちにワクチンを届けるための募金活動を行っています。寒い中で活動ですが、一人ひとりが声を出し呼びかけをします。募金をしてくださる方や声をかけてくださる方がたくさんいてとても暖かい気持ちになりやりがいを感じます。

このようにインターアクト部では様々な活動を行っています。活動を通し、結果を残すことで飛騨高山高校インターアクト部の名前を地元の人々に知ってもらい、そのことで高山をより活性化する第一歩になれば良いと思っています。そのためにも、御協力よろしくお願いします。ありがとうございます。

## 飛騨高山高等学校

### IA部顧問 荒川一弘先生

今日は、例会にお招きいただきありがとうございます。飛騨高山高等学校インターアクト部の顧問を今年度も勤めさせていただきます。荒川一弘でございます。インターアクト部の顧問になりました。12年目を迎えました。飛騨高山高校に赴任いたしました。16年目になりました。

高山西ロータリークラブの皆様には、日頃、本校インターアクト部に多大なご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。また年次大会参加、韓国派遣と物心両面での援助を頂きありがとうございます。昨年度は、本校が地区研修会を主催させて頂きました。その折にも、会場準備、会の運営を多忙中にもかかわらず、協力していただいた事に関しまして、重ねてお礼申し上げます。今日は、私と部長の大村 優希奈の2名が参加いたしております。昨年度の活動報告、今年度の活動計画について説明をさせていただきます。

昨年度は、地区の合同研修会をひだしんさるぼぼ倶楽部サロンにて主催し、会長、幹事、インターアクト委員長、事務局の中澤さんには大変お世話になりました。横浜国立大学講師のジュリアン・カリフォードさんに「英国 その過去と現在を巡る旅」というタイトルで講演をして頂きました。研修会でははじめて全講演を英語でしていただきました。故郷のブリストルやパス・ロンドンに関して豊富な写真を示しながらわかりやすい英語での解説でした。普段は、アメリカ英語での授業が多いので、生粋のブリティッシュイングリッシュにふれることができただけでも、インターアクターには刺激になったことだと思います。インターアクターばかりでなくロータリアンからも質問があり、興味深く、活発な研修会になりました。

さて、今年度は一年生が11名入部してくれました。2年生も新たに入部した生徒も1名います。3年生は7名となり合計20名という大世帯になりました。顧問も正顧問が私から石原靖子に変わり、校内のボランティア活動を活発にしたいと考えております。校内活動を石原が、それ以外を私が担当し、今まで以上に、活発な部活

動をめざし、さらなる部員の増員を図りたいと考えております。

今年度も韓国派遣に参加する生徒がおりません。働きかけはしておりますが、なかなかあと一歩が踏み出せない状態ですので、あきらめずに来年こそはとがんばります。

地域社会に貢献する活動も、ロータリークラブの方々だけでなく、様々な組織の方々から声をかけて頂き、学校外の活動も増え、うれしいかぎりです。昨年も coop 岐阜、NPO はたらくねっとと共に12月の初旬にユニセフ募金を6年連続でプレスポで行いました。6万円近くの募金を集めることができました。募金後に、募金の趣旨、募金がどのように使われているのかについての勉強会をすることもでき、ただ募金するのではなく、何かを学んだ上での募金活動は意義があるものであると感じました。

普段の活動として、今年度もペットボトルの回収に取り組んでいきたいと思っております。大村さんには今年もお世話になることと思っております。よろしくお願いします。

ALT がいらないために、なかなか国際交流活動が思うようにできませんが、洋画を通じて英語力をつけようという活動を積極的に取り組む予定です。来年は、斐太高校が年次大会のホスト校ですので、8年前の経験をもとに協力できることもあると思っております。斐太高校の代わりに地区インターアクト研修会を本校が主催しますので、ご協力をお願いすることになります。

ロータリークラブの方々との合同の活動がここ数年できておりませんので、2019年には門前会長のもとあるプロジェクトを計画の中で、少しでも持続可能な活動になるようにしたいと考えております。一步一步ですが、地域ばかりでなく国際的な交流活動にも範囲を広げ、もっともっと積極的に活動していきたいと思っております。

## <ニコニコボックス>

### ●東 庄豪さん

大変ご無沙汰しています。忘れられない様出席するよう努めます。まだ東京ですが、よろしくお願いします。

### ●米澤 久二さん、鴻野 幸泰さん

飛騨高山高校 IAC 顧問の荒川一弘先生そして部長の大村優希菜さん、ようこそお越し下さいました。本日のスピーチ楽しみにしています。よろしくお願いします。また東さん、ご無沙汰しております。高山へお越しの際は例会へ顔を出して下さい。

### ●大村 貴之さん

飛騨高山高校 荒川先生、姪っ子の 大村優希菜さんのご来訪を歓迎します。

### ●伊藤 松寿さん、内田 幸洋さん、田中 武さん、門前 庄次郎さん、田中 正躬さん、黒木 正人さん、高桑 光範さん、

飛騨高山高校インターアクト部顧問 荒川一弘先生、部長 大村優希菜さんのご来訪を心より歓迎いたします。後ほどスピーチよろしくお願ひいたします。

### ●向井 公規さん

5月19日の新緑例会では、あいにくの天気ではございましたが多数のご出席を頂き誠にありがとうございました。金沢では楽しい時間を過ごしていただけたでしょうか？無事に高山に帰ってくることもでき、一安心しております。本当にありがとうございます。

### ●塚本 直人さん

5月後半となりさわやかな毎日です。先週新緑例会に夫婦で参加させていただき、とても充実した時間となりました。米澤会長・鴻野幹事そして向井委員長お世話になりました。心より感謝いたします。ありがとうございます。

ロータリー：変化をもたらす

# 例会報告

## ●狭土 貞吉さん

①先日19日、金沢・金城楼での新緑例会では身に余る心のこもった祝賀会、誠にありがとうございました。夫婦共々感謝感謝、幸せ一杯でした。今後は陛下のお言葉を肝に銘じ、受けた恩は石に刻み、この病氣と闘い我が人生「明るく楽しく元気よく」素直な心でそれなりに生きていこうと改めて心に誓いました。クラブの皆様本当にありがとうございました。心より感謝御礼申し上げます。27日の昼食はクラブより頂いています結婚記念日のグリーンホテル食事券でいつも世話をかけている愛妻にゴマすりをしてきます。

②萱垣杏花さんから無事帰国の喜びのラブレターを頂きました。その喜びをニコニコに。

## ●萱垣 敬慈さん

先週の19日土曜日に娘の杏花がオーストラリアから帰国しました。皆様のご支援のおかげで無事に留学出来たことを心から感謝いたします。ありがとうございました。

●伊藤 松寿さん、内田 幸洋さん、田近 毅さん、門前 庄次郎さん、平 義孝さん、下屋 勝比古さん、住田 泰典さん、田邊 淳さん、松川 英明さん

留学生の杏花さんが先週土曜日に無事帰国しました。杏花さんは留学中に体重が5キロ痩せたとの事です。お父さんの敬慈さんからは「娘が少し家族に優しくなった」とコメントを頂いています。

## ●斎藤 章さん

①過日13日の訓成会20周年記念公演に際しましては多くのメンバーにチケットの購入・広告の協賛などご無理を申し上げました。お蔭様で成功裡に終えることが出来ました。歓迎会にてお借りした西ロータリー製の袴も好評でした。ありがとうございました。

②23日に3人目の孫(女の子)が生まれました。幸多かれと祈って。

## ●小森 丈一さん

5月13日に催された訓成会20周年記念公演会の津軽三味線は130名が雛壇に並び、大合奏は圧巻で感動しました。斎藤さんご苦勞様でした。

## ●下屋 勝比古さん

金沢での例会を休んで関東学生ハンドボールリーグを観に行きました。何と娘がゴールの前に立っているだけで優秀新人賞を頂きました。相手を潰しに行かない様今後も精進して欲しいと思います。

## ●井辺 一章さん

今年はタケノコも余り採れません。三尾山もカギが掛かり入れなくなりました。明日から一週間旅に出ます。

## ●大村 克秀さん

全国古民家再生協会の月刊誌を机の上に置かせていただきました。一読していただければ幸いです。

## 派遣交換留学生 萱垣 杏花さん 最終レポート

いつもお世話になっております、萱垣杏花です。

先日は、御旅行の後でお疲れになっているにも関わらず、歓迎して頂いてありがとうございました。高山西ロータリークラブの皆様は本当に温かくて、「おかえり」とお声をかけて頂ける度にとっても嬉しかったです。

そんな皆様の思いやりある温かいお言葉や、留学に関して多大なるサポートをして下さったこと、本当にありがとうございました。私が至らないばかりに、未だに気がついていない皆様の御苦勞もあったことと思っています。

この10ヶ月を通して学んだことはたくさんありますし、オーストラリアでの思い出は二度と忘れることは無いと思います。自分の置かれている環境の豊かさ、幸せさをしっかりと心に置き、これからの未来へ後悔しないように精一杯取り組むことを決意しました。

これは、最後の23日間で行ったオーストラリアキャンプについてのレポートです。帰国後にたくさんの方から日本語がおかしいと指摘され、日本語に自信がなくなってしまった中で作った情報量の多いレポートなので、至らない箇所が多いかと思いますが、一週間の努力の集大成となっているので、最後まで目を通して頂けたら嬉しいです。



AUSTRALIA

SAFARI 2018

Rotary District 9670,9685

[期間] 4月22日～5月14日

[移動距離合計] 約14,000 km

[メンバー]

交換留学生 32人

ロータリアン 3人

運転手 1人

料理長 1人

萱垣杏花

## SAFARI

これは、オーストラリアのロータリー地区9670、9685の交換留学生と引率のロータリアン計37人がオーストラリアの東半分を23日間かけて一周するキャンプです。

もちろん「キャンプ」と呼ぶだけあり、ほぼ毎日2人1組で決められたペアで自分たちの力だけでテントを立て、雨の日や寒い日、暑い日でも関係なく寝泊まりしました。場所によっては、テントの中で毒蛇が見つかったり、蜘蛛や小さな虫がいましたが、誰1人けがをしなかったことを嬉しく思いました。



留学生達には日によってそれぞれ仕事決められており、キッチンで調理器具を洗ったり、バスの掃除や荷物の積み込みなどをしました

バスの後ろには小さなトレーラーがついて

おり、組み立てるとキッチンになるようになっていました。ウェンディさんという、普段は看護師をしている女性が料理してくれました。

また、表紙にもあるように移動距離合計が14,000 kmと、オーストラリアの端から日本へ往復するのと同じ距離をバスで移動しました。運転手はティムさんというプロの方が、長いときには1日に11時間も運転し続けて下さいました。

ロータリー：変化をもたらす

# 例会報告

## [旅路]

また、行く場所ごとにスピーチをする留学生が決められており、その場所を説明しました。私は「グレートバリアリーフ」という有名な珊瑚礁についてのスピーチをしましたが、中にはとてもマイナーな場所のスピーチを割り当てられていた留学生もいて、新しい情報をたくさん学びました。

さらに、毎晩それぞれの国歌を披露しました。日本ではよく耳にし、歌われる国歌ですが、国によっては国歌を知らない学生がいたり、滅多に歌われない国もあることを知り、面白いと感じました。

## Umpherston Sinkhole

Umpherston Sinkhole では自然の美しさがひしひしと伝わってきました。

かつては地中に鍾乳洞があったのですが陥没し、1886年頃にそれを整えて今は庭園になっています。とても神秘的で、これだけの庭園を作り上げた故人にとっても感激しました。



次のページからキャンプの中でも、特に素晴らしかった経験を紹介します。

また、緑の蔓の下には未だに鍾乳洞の面影もあり、水が流れていて小さな滝に整えられており、細部まで丁寧に手がけてありました。

## Great Ocean Road

世界一美しい海岸線とも言われる、Great Ocean Road へ行きました。その中で、私が最も目を奪われたのはこの写真です。左の岩は陸へとつながっていますが、かつては右の岩もつながっていたそうです。25年ほど前に崩れ、その際に右の岩に1家族が取り残され、救助を数時間待ったという話を聞きました。

オーストラリアの海はとても色が綺麗です。この写真を撮った後には、天候がやや崩れてしまい、絶景は見られませんでした。とても美しい場所でした。



## Salt Lake

真っ白な塩の地面が見渡す限り続いていました。留学生は塩をなめてみて、本当に塩かどうか確かめていました。塩湖によっては完全に乾いてないところがあると聞きましたが、私たちが行ったところはどこまでも乾いていて、上を歩くことができたので塩湖の中心部近くへ移動すると、見渡す限り平らで真っ白、といった絶景を楽しみました。



この Safari は留学生が3人と大人数なので、出身国が同じ学生がたくさんいました。そんな中アジアからは日本人として、私と2人の男子が来ていました。左の写真はその2人と撮った遊び写真です。

ロータリー：変化をもたらす

## 例会報告



日本の他に、ノルウェー、スペイン、アメリカ、オーストリア、デンマーク、オランダ、ブラジル、ドイツ、スロバキア、フランス、イタリア、フィンランド、ベルギー、スイス、メキシコから来ていました。

### Kings Canyon



遊歩道のようなものが作ってあり、人が歩けるようになってはいるものの、想像していたよりも何倍も大きく、また険しい道りに驚きました。

ですが、あたりを見渡してみると、平らな土地に大きく高くそびえている Kings Canyon はとても綺麗で、頂上からの絶景は忘れられないものとなりました。

### Uluru

やはり、オーストラリアと言えば有名な Uluru (Ayers Rock) へ行きました。

Uluru はただの大きな岩ではなく、オーストラリアの先住民であるアボリジニにとっては、とても神聖な場所です。近年までは Uluru 自体を登ることができましたが、たくさんの事故が起り、アボリジニにとっては神聖な場所でこれ以上人々が亡くなるのは嫌だということで、今となっては特定の団体や少数の人々しか登れなくなっています。

私たちは1人のガイドのかたに Uluru の周りを案内して頂き、アボリジニにまつわる話を聞きました。Uluru の周りには場所によって語り継がれている由来や物語があります。アボリジニの歴史は決して文面により残されないのです。なので人々は語り継ぐことで、後世に残していくそうです。

さらにアボリジニの歴史に興味を抱きました。

Uluru に登れないことを残念に思っていた私たちのために、ガイドの方が飼っているカンガルーの赤ちゃんを 2 匹釣ってきてくれました。ツアーで Uluru の周りを歩く間、順番にだっこさせてもらえ、とても良い経験になりました。



### Camel Riding

ラクダの農場に行き、人生で初めて、ラクダに乗りました。

ここではラクダを使ったレースが行われていたり、ラクダを使ったツアーをしたりなど普段見ない光景を目にしました。

また、ラクダの赤ちゃんには、えさをあげたり触ったりすることができ、想像以上のまつげの長さや毛の柔らかさに驚きました。

ラクダに乗りふれあった直後になんと、ラクダバーガーというラクダの肉を食べました。食感や風味は牛肉と疑うほど似ていました。ふれあった直後にというのは少し残酷すぎましたが、あまりできない経験なので、しっかり覚えておきたいです。



### Milla Milla Falls

Tablelands という大自然に溢れた土地の Milla Milla Falls という大きな滝を見ました。私の後ろの滝に注目してみると、人が滝の中に立っているのがわかります。人のサイズから、滝がいかに大きいかかわかると思います。

## 例会報告

天候が良いと、水が綺麗な青緑掛かった色になります。泳ぐこともできるので、この後留学生達は水に入って写真を撮ったり、滝をくぐったりなど楽しめました。



### Great Barrier Reef

Great Barrier Reefではスキューバダイビングをしました。この亀の写真は私たちのダイブ中に同行していたカメラマンの方が撮った写真です。今でもまだ色とりどりの生き物や、珊瑚礁は綺麗なのですが、やはり目立ったのが珊瑚礁の白化です。



私は Great Barrier Reef に向かうバスの中で、Great Barrier Reef が抱える問題と、その解決方法として政府がしていること、また私たちにできることをスピーチしました。

スピーチではこのようなことを話しました。今となっては珊瑚礁の93%が白化、つまりかつての美しい彩りの珊瑚礁が死んでしまい、白一色になりつつあるということです。白化の原因としては地球温暖化があげられるのですが、Great Barrier Reef が抱える問題は白化だけでは無いのです。

人間の出す汚染、化学物質の海への流出、珊瑚を食料とするオニヒトデによる破壊、旅行者のスキューバダイビング中の接触や、漁船や貿易船による接触からの破壊など、現在の Great Barrier Reef の環境は最悪と言えます。

オーストラリア政府は、汚染物質を減らし、流出を完全にブロックしようと試行錯誤し、Great Barrier Reef を守るための法律を作ったりなどしていると聞きました。

私たちにできることとして留学生達に伝えたのは、スキューバダイビング中に珊瑚礁に絶対に触れないこと、オニヒトデは青色が目立った特徴をもつヒトデなので、見たらインストラクターに伝えること、それと日常生活の改善です。

なるべく排気ガスの出ない乗り物やバスや電車などを使い、1人1人から作り出される汚染を減らす、水は使う分だけ出す、ゴミはゴミ箱へ、など難しいことは1つありません。

私たちは綺麗な Great Barrier Reef を見て楽しんでいますが、これからもずっと綺麗であってほしいはずなので、保持するためにも何かに取り組む責任があると、私は考えています。

### White Heaven Beach

世界一白いビーチ、White Heaven Beach へ行きました。あの有名なジョニーデップ主演のパイレーツオブカリビアン撮影が行われた場所です。砂の細かさや不純物の少なさから成る白い砂浜は、歩くとキュッキュッと音が鳴ります。



このビーチまでは、ジェットボートという高速ボートに2つに分かれて乗って行きました。運転手と2人の乗組員と私たち学生が16人ずつ乗れるサイズで、昼食まで用意して頂き、ボートの上でみんなで食べました。

水がとても透明なので、様々な魚やエイなどがボートの上から見る事ができ、また来たいと思いました。

また、砂浜には青色の5cmほどの蟹が数十といました。足の踏み場がないほどたくさんいて、人間の足音の振動に気づくと砂の下に隠れます。やはり良い砂が作り出す環境が、動物たちを大量発生させたのだと思います。



### Safari を終えて

この Safari を通して、改めてオーストラリアの大きさを実感しました。

Safari 中に考えていたことがあります。もし、自分が留学に一步踏み出していなかったら、オーストラリアを選ばなかったら、英語や異文化を学ぶことを諦めてしまっていたら……

今ある友人達や無数の貴重な経験はまず無かったでしょう。さらに、こんなふう好きなことができることへのありがたみや将来のことは深く考えなかったかもしれません。

これまで自分の人生に影響を与えてくれた人達や、普段からたくさん協力、援助してくれる家族や身の回りの人、何よりこのオーストラリア留学に出させて下さったロータリークラブの方々への心から感謝しています。

自分の置かれている環境の豊かさ、幸せさをしっかりと心に置き、これからの未来へ後悔しないように精一杯取り組むことを決意しました。

ありがとうございました。



ロータリー：変化をもたらす